# 取扱説明書

# 共聴用 HF・FM・VHF・UHF・BS/CS 混合・分波器 CS-S30

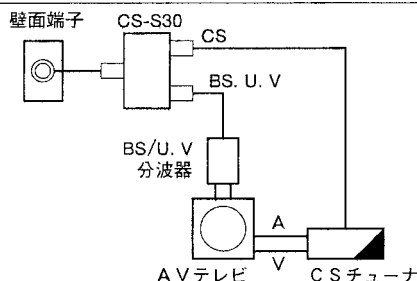
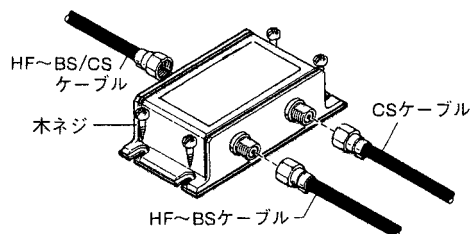
・このたびは八木アンテナの製品をお買いあげいただきありがとうございました。
・ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は大切に保存してください。

## ◆ 特長

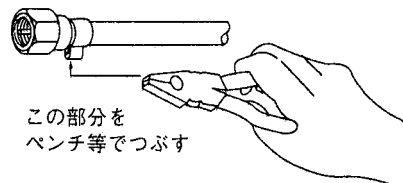
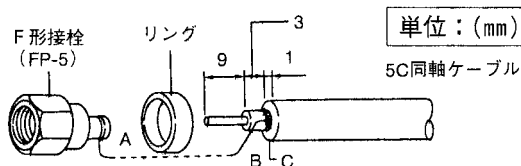
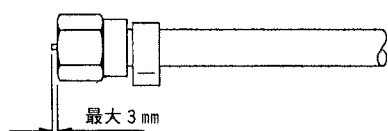
・本器は、HF・FM・VHF・UHF・BS と CS を分波（混合）を目的とする、屋内用機器です。
・HF～BS/CS 端子とHF～BS（CS）端子間電流通過形です。（DC15V 0.8A）

## ◆ 標準性能 HF：10～70MHz FM・VHF：70～300MHz UHF：300～770MHz BS：770～1335MHz CS1：1380～1895MHz CS2：1895～2150MHz

| インピーダンス（Ω） | 通過帯域減衰量（dB） | | | | | | 阻止帯域減衰量（dB） | | | | | | V. S. W. R | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | HF | FM・VHF | UHF | BS | CS1 | CS2 | HF | FM・VHF | UHF | BS | CS1 | CS2 | HF | FM・VHF | UHF | BS | CS1 | CS2 |
| 75 | 1.5 | | | 3.5 | 4.0 | 4.0 | 20 | | | 20 | 15 | 15 | 1.8 | | | 2.0 | 2.5 | 2.5 |

## ◆ 使用例（分波器として使用する場合）

## ◆ 本体およびケーブルの取付け

## ◆ F形接栓の加工方法

・F形接栓は、別途お買い求めください。
・5C同軸ケーブルに、当社製F形接栓FP－5を取付ける場合は、下図の方法で加工してください。
①ケーブルの種類と接栓の種類を合わせてください。
②ケーブルを図のように加工してください。
③リングにケーブルを通してください。
④接栓A部をケーブルB部の絶縁物と外被導体の間に回しながらC部まで押し込んでください。
⑤リングと外被を一緒にペンチ等で強く締めつけてケーブルが抜けないようにしてください。

この部分を
ペンチ等でつぶす

⑥ケーブルの中心導体をニッパー等で下図のように切断してください。

**⚠ 注意**

・ケガの原因となることがありますので、カッターナイフ・ニッパー等の使用については、十分にご注意ください。
・中心導体が３mm以上でていると先端がケース側結合部の奥に当たりますので注意してください。
接触不良になる場合があります。

●この製品は今後改良、性能向上のため、形状及び特性を変更することがあります。

八木アンテナ株式会社
〒337-8502 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406
http://www.yagi-antenna.co.jp

■ 製品に関するお問い合せ ■
048-687-8198
ご利用時間(土・日・祝日・弊社休業日を除く)
9:00～12:00 13:00～17:00

DGCJC006A